

中·日文對照版

論語

己所不欲
勿施於人

山東教育出版社

Pongbo



論語



Ronggo

己所不能
勿施於人



《論語》

(中·日文對照版)

編委會 韓喜凱

張樹驊

劉示範

王大千

主編 劉示範

翻譯 郭君武



前言

孔子（公元前 551 年－前 479 年）是中國古代偉大的思想家、教育家、儒家學派的創始人，也是舉世公認的世界十大歷史文化名人之一。孔子思想和由孔子開創的儒家思想，構成了中華民族傳統文化的基礎，深刻影響了二千五百年來中國社會的各個方面，對人類思想和文化的發展起到了重要的推動作用。

漢朝思想家班固曾說：“**《論語》者，孔子應答弟子時人及弟子相與言而接聞於夫子之語也。**”《論語》約成書于戰國初期，流傳至漢代，出現了“魯論”、“齊論”和“古論”等內容相近的三種版本。現在我們所見到的《論語》，是以“魯論”為基礎、參考其他兩種本子改定而成的。《論語》是集中記載孔子思想言論的權威著作，曾被古人譽為**修身、齊家、治國、平天下**的寶典，是國內外公認的、最忠實地反映與代表孔子和由他創立



的正統儒家學派思想的經典，是人們學習、認識和研究孔子和儒家思想最可靠的優秀的經典根據，素來受到海內外有識之士的厚愛與尊崇。早在秦、漢之際就被當時的朝鮮與越南引進，十六世紀后《論語》陸續傳到西方，相繼在歐、美各地出版傳布。《論語》堪稱世界文化寶藏中彌足珍貴的瑰寶，至今光彩猶存。

為傳承孔子的思想，我們將從孔子誕辰 2555 年始，選用公認的最權威的漢語版《論語》為依據，聘請有關外國語言的專家，陸續編譯多種語言與漢語對照版的《論語》，以方便更多不同文化背景的人們去誦讀和研究。

中國孔子基金會 會長 韓喜凱

二〇〇四年九月六日



前 書

孔子（紀元前551年—紀元前479年）は中国の古代の偉大な思想家・教育家・儒家学派の創立者であり、また世界で公認の十大名人の一人でもあります。孔子思想と孔子により創立された儒家思想は中華民族の伝統的な文化の基礎を築き上げ、二千五百年にわたって中国社会の各分野に深い影響を与えてきて、人類の思想と文化の発展を推し進める上では重要な役割を果たしています。

漢朝の思想家の班固氏は「『論語』とは学問などについて孔子が弟子や人にお教えになったり、質問にお答えになったりし、また弟子たちも討議し合って、自分の見解を述べたり、先生に教わったりしていたという語の集まりである」とおっしゃったことがあります。『論語』はおよそ戦国の初期に書き上げられ、漢朝まで伝わっている間には、「魯



論」、「齊論」、「古論」などの内容が似ている三種類の異本が出てきました。今の『論語』は「魯論」を基に、その二つを参考にして改訂されたものであります。それは、孔子の思想言論をまとめて記載している、権威のある著作なので、昔の人々から**身を修め、家をよく管理し、国を治め、天下を太平にすることが出来る**宝典と誉められたことがあり、孔子および孔子の創立された正統な儒家学派思想をもっとも忠実に表わしている經典だと国内外にも認められており、そして人々が孔子と儒家思想を学習・理解・研究する上で、何よりの拠り所であります。したがって、いつも海内外における、見識の高い人々に深く愛され、尊敬されているものであります。

『論語』は、秦・漢の時代から当時の朝鮮やベトナムに導入され、十六世紀後は次第に西洋諸国に伝え



られ、相次いで欧米各地での出版によって広く人々に知られていました。世界文化宝庫の中の貴重な宝物であり、現在もその輝かしい光を放出していると言えるでしょう。

孔子の思想を伝え継ぎ、文化背景の違っている人々が『論語』をお読みにになり、またご研究をされるために、孔子の御誕生2555周年からもっとも権威とされている漢語版の『論語』を基にして、お招きした外国語関係の言語学者といっしょに多種の言語と漢語対照の『論語』を継続して編集翻訳いたそうとしている次第であります。

韓喜凱 (Han Xikai) 中国孔子基金会 会長

2004年9月6日

目錄



學而篇第一	一
爲政篇第二	一一
八佾篇第三	二五
里仁篇第四	三九
公冶長篇第五	五一
雍也篇第六	六七
述而篇第七	八三
泰伯篇第八	一〇一
子罕篇第九	一一三
鄉黨篇第十	一二九

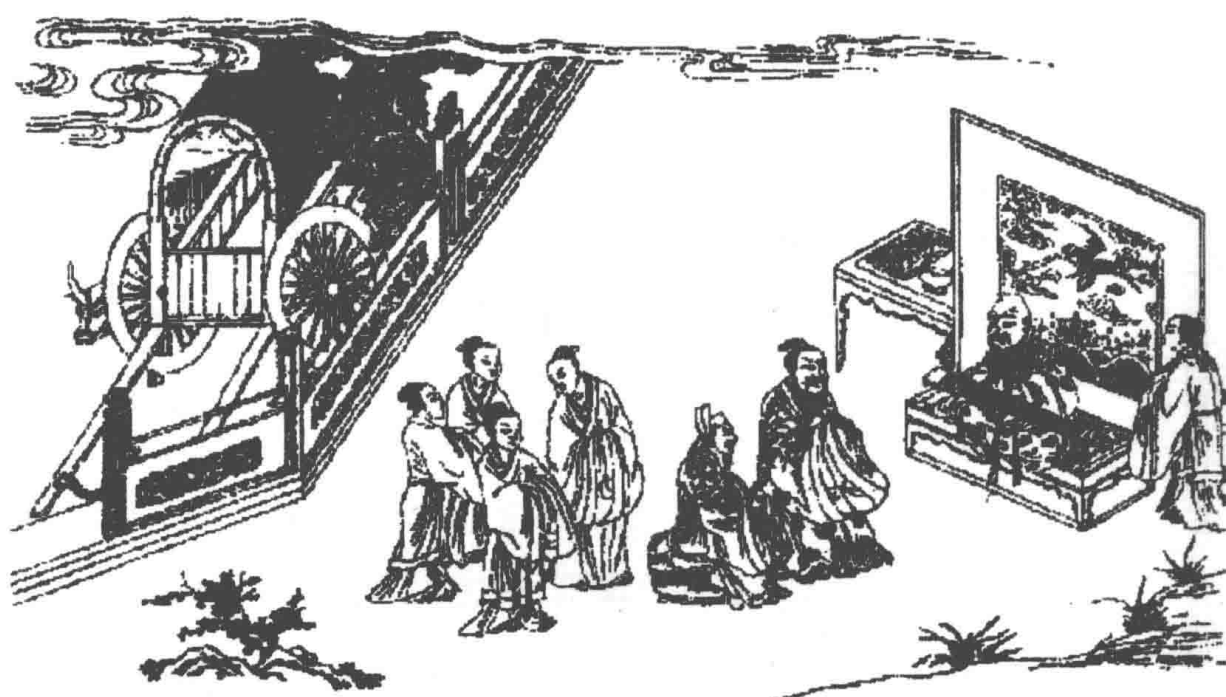
先進篇第十一		一四一
顏淵篇第十二		一五九
子路篇第十三		一七五
憲問篇第十四		一九三
衛靈公篇第十五		二一七
季氏篇第十六		二三五
陽貨篇第十七		二四九
微子篇第十八		二六七
子張篇第十九		二七七
堯曰篇第二十		二九三



目次

学而第一	1
為政第二	11
八佾第三	25
里仁第四	39
公冶長第五	51
雍也第六	67
述而第七	83
泰伯第八	101
子罕第九	113
鄉党第十	129

先進第十一		141
顏淵第十二		159
子路第十三		175
憲問第十四		193
衛靈公第十五		217
季氏第十六		235
陽貨第十七		249
微子第十八		267
子張第十九		277
堯曰第二十		293



【學而篇第一】

【学而第一】

諸
諸



學而篇第一

二

上卷





一

子曰：“學而時習之，不亦說乎？有朋自遠方來，不亦樂乎？人不知而不愠，不亦君子乎？”

子曰く、学びて時にこれを習う、亦説ばしからずや。朋あり、遠方より来る亦樂しからずや。人知らずして愠みず、亦君子ならずや。

二

有子曰：“其爲人也孝弟，而好犯上者，鮮矣；不好犯上，而好作亂者，未之有也。君子務本，本立而道生。孝弟也者，其爲仁之本與！”

有子曰く、其の人と為りや、孝弟にして上を犯すことを好む者は鮮なし。上を犯すことを好まずして乱を作すことを好む者は、未だこれ有らざるなり。君子は本を務む。本立ちて道生ず。孝弟なる者は其れ仁の本たるか。



三

子曰：“巧言令色，鮮矣仁！”

子曰く、巧言令色、鮮なし仁。

四

曾子曰：“吾日三省吾身：爲人謀而不忠乎？
與朋友交而不信乎？傳不習乎？”

曾子曰く、吾日に三たび吾が身を省る。人の為に謀りて忠ならざるか、朋友と交わりて信ならざるか、習わざるを伝うるか。

五

子曰：“道千乘之國：敬事而信，節用而愛人，
使民以時。”

子曰く、千乗の国を道びくに、事を敬して信、



用を節して人を愛し、民を使うに時を以てす。

六

子曰：“弟子入則孝，出則弟，謹而信，汎愛衆，而親仁。行有餘力，則以學文。”

子曰く、弟子、入りては則ち孝、出でては則ち弟、謹みて信あり、汎く衆を愛して仁に親しみ、行いて余力あれば、則ち以て文を学ぶ。

七

子夏曰：“賢賢易色，事父母能竭其力，事君能致其身，與朋友交言而有信。雖曰未學，吾必謂之學矣。”

子夏曰く、賢を賢として色に易え、父母に事えて能く其の力を竭し、君に事えて能く其の身を致し、朋友と交わるに言いて信あらば、未だ